



世界に希望を生み出そう

MONTHLY REPORT

2023-2024年度 会長 土田 博 幹事 小林悦子 第2530地区ガバナー 右近八郎 第4～6回例会

発行 2023.9.5

第4回例会 通算第1171回例会 令和5年8月3日(木)

12:30～13:30 ヘルヴィ郡山館 本館2階 イシス

- ▶ 開会点鐘
- ▶ 国歌斉唱
- ▶ ロータリーソング「奉仕の理想」斉唱
- ▶ ロータリーの目的・四つのテスト唱和：橋本弘幸さん
- ▶ ゲスト：高橋金一 中央分区ガバナー補佐(郡山西RC)

挨拶：土田 博 会長

今月は会員増強・新クラブ結成推進月間です。クラブの文化に目を向け、必要に応じて調整を加えるのに最適な時期とされております。そこで会員の皆様に少しでも充実したロータリーライフを楽しんでいただくために「会員満足度アンケート」をお送りします。皆様のご意見やご希望をお伺いして、これからの運営に生かしていきたいと思っておりますので、ご協力よろしくお願いいたします。



挨拶：高橋金一 ガバナー補佐

郡山アーバンRC創立総会に、理事長代理としてJC副理事長だった私が参加いたしましたし、つい最近までは私が所属する郡山西RCと例会が同じ曜日で、合同例会も何回もやっており、郡山アーバンRCを身近な存在に感じております。ガバナー補佐は、ガバナーの方針を各担当分区の各クラブに伝えることがメインの仕事ですが、軸足は各分区の各クラブに置くということです。ガバナーに中央分区の声をきちんと伝え、そしてガバナーの考えをお伺いしつつ、地区全体がうまく回るようにお手伝いをしたいと思います。ガバナー補佐は特別な存在ではなく普通の会員とさせていただいて、何かありましたらお声掛けいただければと思います。1年間よろしくお願いいたします。

▶ 8月の誕生祝い 渡邊孝子 親睦活動委員長

今月お誕生日を迎える橋本弘幸さん、佐藤功一さんに花束を贈呈いたします。



プログラム：戦略計画委員会卓話

●松川義行 戦略計画委員長

「ロータリーの友」のホームページに、日本全体の会員数に関するいろいろなデータが掲載されている「ロータリー資料館」というページがありました。

ここで会員数を調べていくと、1996年11月末頃は13万1342人でしたが、最新のデータの今年5月末時点で8万4788人でした。

日本では減少し続けていますが、世界レベルでは横ばいという状況のようです。

マイロータリーから辿ったデータでは2530地区の会員数の推移は5年分しかありませんが、2019-20年は2290人ほどで、2020-21年は少し増えましたが、2022-23年は少し減っております。

昔はどうだったのかと調べてみると、2000年7月末には2926人でした。この20数年で減っていることがわかります。

2530地区の消滅クラブについてもマイロータリーから辿ってデータを探すことができました。2023年度6月末には福島しんたつRCと、いわき四倉RCが消滅し、2020年代に入ってから4クラブが消滅しておりました。

2004年の規定審議会でRIの細則に合併の規定が設けられました。RI理事会の承認があれば、この規定に基づいて正式な手続を踏めば合併が承認されるということになります。

当クラブでは2021-22年度にビジョンと戦略計画を作成しましたが、コロナ禍の逆風の中で会員増強の目標達成ができていない状況です。「さらなる多様性を育み、変化に対応できる活力あるクラブを目指そう」というビジョンを作ったわけですが、これを達成するための手法として、別の選択肢もあり得るのかもしれないと考えることもできるのではないかと、私個人としては考えているところです。

RIが準備している手順や文書は、マイロータリーなどから入手できます。会員の皆さんに活発に議論をしていただいで、それをもとに決めていかなくてはいけないこととなります。

●高橋金一 ガバナー補佐

松川委員長がいろいろ調べていただいて非常に参考になりました。郡山コスモスRCが会員減少で困っているようだという印象もありますが、郡山コスモスRCの2011年からの増加率は41.7%で2530地区で4番目で、一生懸命頑張っているクラブであると思います。

郡山アーバンRCもより高みを目指していくというのは非常に良いことだと思います。まずクラブ内でのコンセンサスを取ることが一番重要だと思いますし、お互いに情報を密に交換しつつ、良い方向に向かっていただければと思います。

中央分区の発展のためには非常に良いことだと思っており、私も微力ながら協力させていただきます。

今日は興味深いお話をありがとうございました。



第5回例会 通算第1172回例会 令和5年8月17日(木)

12:30~13:30

ベルヴィ郡山館 本館3階ビクトワール

- ▶ 開会点鐘
- ▶ ロータリーソング「我らの生業」斉唱
- ▶ 四つのテスト唱和：井上 厚さん
- ▶ ゲスト：
 - 郡山コスモスRC 本郷俊之 会長
 - 齋藤健二 幹事/桑原雅人 直前会長/寺山幸徳 直前幹事
 - 土屋繁之 戦略計画委員長/会員ファミリー 雄星君



挨拶：土田 博 会長

郡山アーバンRCは和気あいあいの雰囲気です。郡山コスモスRCの皆様にはゆっくと楽しんでいただければと思います。

暑い日がまだまだ続きますので、健康に十分に注意して、例会にご出席いただきたいと思います。

プログラム：クラブフォーラム

●藤田弘美 会員増強委員長

郡山アーバンRCは土屋繁一さんが特別代表として設立され、土屋繁一さんがガバナーのときに郡山コスモスRCが設立されて、土屋繁之先生が移籍されました。

私が会長の2012年には合同例会を3回行っており、きょうだいクラブのように感じております。

●土田 博 会長

今日のクラブフォーラムで皆様からご意見、ご要望などをお聞かせいただきたいと思います。 <意見交換>

●土屋繁之さん

多様性の中で、私たちは何を自分の価値として持ち、どのように考えて会員として参加するかということが大事であると考えています。今のロータリーは、考え方をひとつにしようとしている気がしています。

地区会員増強委員長が「数は力なり」などと公言しており、小さなクラブを地区はどのように考えるのかと聞くと、みんな口を閉じてしまいます。クラブとしての経営的な基盤を作るために数が必要というだけです。私たちロータリアンは、どこに価値を見出して活動に参加するかはそれぞれ違います。仕事に結びつくことが価値だと考える人もいます。

私はいろんな人と知り合い、違う職業の人たちと話をすることでたくさんの方の知識をいただけて価値を見出しています。

奉仕がメインということではなく、私たちがいろんなことをやっている中で、何かをやってみようというときに奉仕が生まれるというのが、ロータリーの本来の理念だと思います。

先ほどいいヒントをいただきました。ポール・ハリスも「ビジョンがなければ何事も始まらない」と言いました。そこに舵をしっかりとっていきたいと思いますのでどうぞよろしくお願いいたします。



第6回例会 通算第1173回例会 令和5年8月24日(木)

12:30~13:30 ベルヴィ郡山館 本館2階 イシス

- ▶ 開会点鐘
- ▶ ロータリーソング「我らの生業」斉唱
- ▶ 四つのテスト唱和：内田朝美さん
- ▶ ゲスト：郡山西ローターアクトクラブ
 - 堀下慎哉 会長・地区ローターアクトクラブ委員会 委員
 - 大沼優也 幹事
 - 久家真広 地区ロータリー財団委員会 補助金委員会 委員

挨拶：土田 博 会長

本日のローターアクト活動報告を機会に、今後もスポンサークラブとして協力と支援、交流と連携を図っていきたくております。郡山アーバンRC杯中学野球大会の1・2回戦が11日に開催され、26日(土)に準々決勝と準決勝、27日(日)に決勝戦と閉会式が行われます。これまでの試合結果を各テーブルにお配りしますのでご覧ください。

9月27日(水)はガバナー公式訪問です。会場は郡山ビューホテルです。クラブ協議会は10時30分から、その後に例会となっております。会員の皆様で右近八郎ガバナーをお迎えしたいと思いますのでよろしくお祈りいたします。



▶ マルチプルポールハリスフェロー(3回目)表彰 [写真左]

鈴木かおるさん / 橋本弘幸さん

▶ 郡山西ローターアクトクラブに支援金贈呈 [写真右]

プログラム：ローターアクト活動報告

●久家真広さん

当地区のローターアクターは年々減少傾向にありました。仲間を増やすためには活動をしっかり行って共感していただく必要があると考え、地区ターゲットを「輪」として、「ともだち100人プロジェクト」を実施してきました。

11月5日に秋の大運動会「観光レースで楽しもう」を喜多方ローターアクトクラブが中心となって開催しました。5月5日に「郡山市子ども祭」が郡山カルチャーパークに会場を移して4年ぶりに通常開催され、多くの団体が並ぶブースの中で、私たちは「わくわくバルーンアート」の製作実演と子どもたちへの無償提供を行いました。郡山市出身の大道芸人タッシーさんの助けもあり、初心者アクターもバルーンアートを製作して、子どもたちの長蛇の列ができる大盛況でした。アクター1人約100個、全体で約1500個のバルーンアートを子どもたちに渡し、達成感を感じました。

本日はローターアクトの活動を皆様にお伝えする機会をいただきましてありがとうございます。今後もしっかりと活動して報告していきたいと思っております。